

七日堂裸まいり特集



ふぁいとぉ～！
天斗(～o～)

平成28年1月8日付け
福島民報

無病息災などを祈り、大鰐口の打ち綱をよじ登る下帯姿の男衆

柳津町の福満虚空蔵尊円蔵寺の奇祭「七日堂裸まいり」は七日夜、催された。下帯姿の男たちが大鰐口（わにぐち）の打ち綱をよじ登り、無病息災などを祈願した。

午後八時半に境内で台凶の鐘が鳴らされると、男たちがはだしで石段を駆け上がり、本尊の福満虚空蔵菩薩

幸 求め上へ

七日堂裸まいり

柳津・寺
円蔵

（ぼさつ）をまつる菊光堂を目指した。冷水で身を清め、勢いよく打ち綱に飛び付いた。

裸まいりは、只見川にすむ竜神から「宝照の玉」を手に入れ疫病を逃れた村人が、一月七日の夜に玉を取り返しに来る竜神を追い払うため寺に集まった一との伝説にちなむ。



本堂に入る前にちようず場の冷水で身を清める男たち。豪快に水を浴び、寒さを吹き飛ばしていた



午後8時30分に合図の鐘が鳴ると、下袴姿の男たちが一斉に本堂を目指した。130段ある石段をはだして駆け上がった

あふれる 熱気

柳津町の福備處蔵尊円蔵寺で七日夜に催された奇祭「七日堂裸まいり」は、下袴姿の男たちが新年を迎えた柳津に熱気をもたらした。伝統の祭りを写真で紹介する。

柳津・円蔵寺 七日堂裸まいり



大人に混じって子どもも懸命に打ち綱を登った。ワッショイ、ワッショイの掛け声の中、周囲の助けを受けて上を目指した



裸まいりを終えると幸福と無病息災をもたらすとされる「牛主(ごおこ)」の矢が配られた。本部事務所では矢を手にした参加者が福引で連試をした



柳津町商工会女性部は町内の休憩施設でこつゆやおしるこ、甘酒などを振る舞い、観光客らをもてなした



柳津町の柳津、西山両中学校の生徒は伝統を受け継ぎ参加した。高校台格や部活動での躍進などを祈願した